

VERITAS NetBackup™ 5.0 Vault

革新的なデータプロテクション

倒産することを想定してビジネスを遂行する企業などあり得ません。ところが、災害に見舞われた企業は、5社のうち2社の割合で5年以内に倒産する可能性があります。お客様の会社を災害から守るには、バックアップをオフサイトに格納することが不可欠です。企業の多くは、メインフレーム システム向けのオフサイト手順は万全の手法で確立していますが、UNIX、Linux および Windows 環境に対応したものとなると準備されていない場合が多く、実施した場合でも不十分となるか、あるいは過剰に人手を要するものとなります。VERITAS NetBackup™ Vault は、ミッションクリティカルなデータをオフサイトで確実に保存し、ディザスタ発生時のリカバリに備えます。

VERITAS NetBackup™ ソフトウェアに統合可能なオプションとして提供される VERITAS NetBackup Vault は、バックアップコピーとオフサイトメディア マネジメントの煩雑で単調なプロセスを自動化します。どのバックアップをいつ、どのようにコピーするか、さらに、ディザスタ発生時のデータ損失を最小限に抑えるためにテープをいつオフサイトボールドに送り、いつオンサイトに戻すかを制御するプロファイルを設定できます。詳細な設定は NetBackup Vault が行うため、ユーザーはより差し迫った問題に取り組むことができます。

製品の特長

- **包括的なテープローテーション** ディザスタリカバリを円滑に実行するために、NetBackup Vault はバックアップメディア (テープ) のオフサイトストレージへの移動と回収を、最小限のコストと最大限の効率で運用します。
- **完全な自動化** 既定のボールド プロファイルによって、コピーされたバックアップやオフサイトに送信されたバックアップを特定し、これらのバックアップが保存される期間を決定します。また、NetBackup Vault は定期的なバックアップテープの他に、NetBackup カタログ (データベース) のバックアップを自動的にオフサイトに送信し、リカバリプロセスを容易にします。
- **ACS マルチ MAP による高度な排出** 自動カートリッジ システム (ACS) のテープロボットによって、NetBackup Vault はメディアを最も近接したライブラリ ストレージ モジュール (LSM) か、または複数の LSM から同時に排出できます。
- **容易なメンテナンス** オフサイトに送られるテープは毎日自動的に排出されるため、テープを扱うスタッフは、梱包作業や搬送を短時間で実行できます。
- **オフサイトメディア追跡** オンサイトおよびオフサイトのテープインベントリは、NetBackup データベースに慎重に記録され、追跡されるため、テープの保存場所を常に把握することができます。

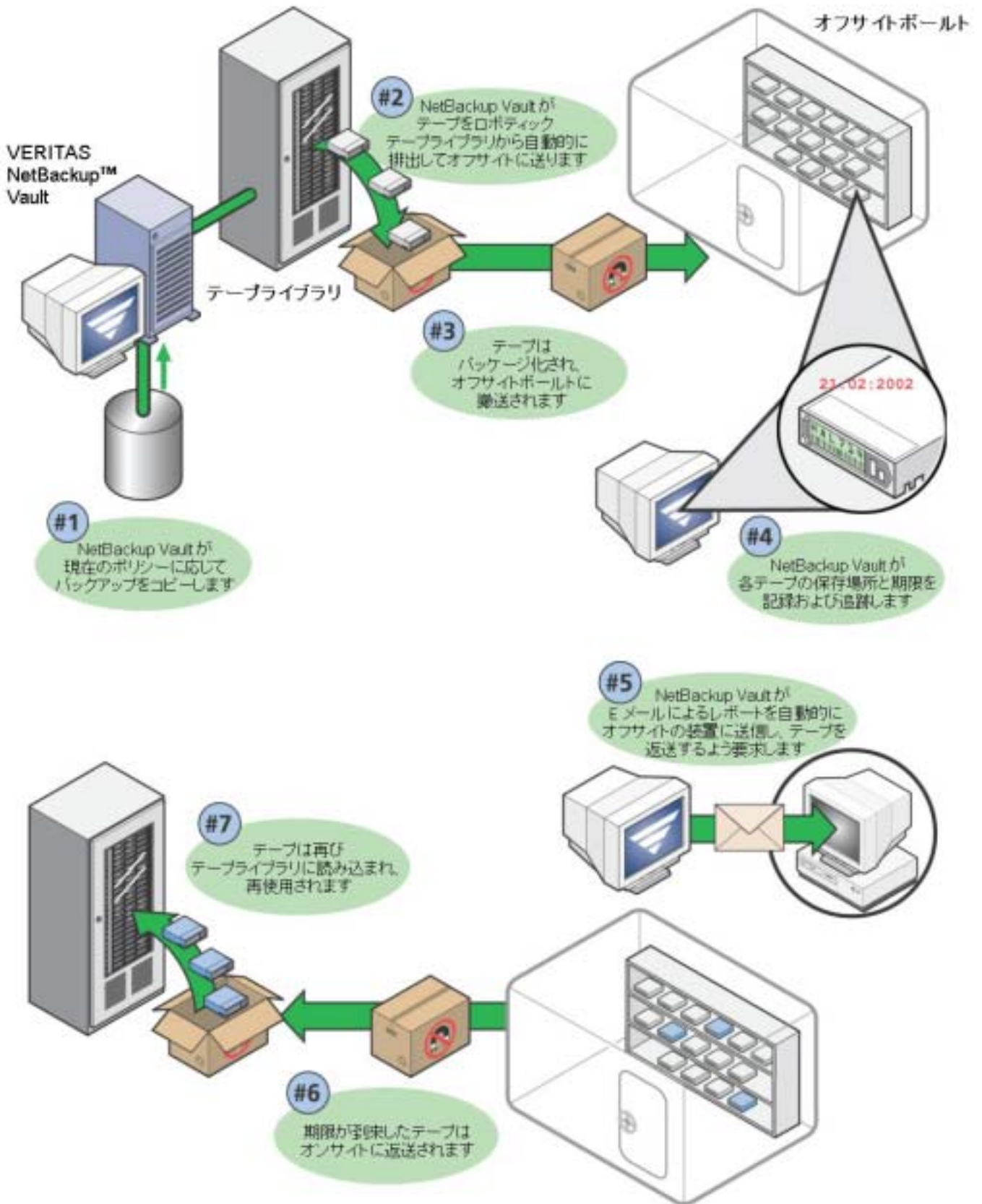
- **コンテナ ボールド** NetBackup Vault は、クローズド コンテナ内のバックアップメディアのボールドリングをサポートし、メディア、メディアを含むコンテナ、そしてこれらメディアとコンテナの返送日を追跡およびレポートする機能を提供します。
- **詳細なボールド レポート** 毎日のピックアップ リストレポートによって、オフサイトに送る必要があるテープや、オンサイトに戻す必要があるテープが正確に示されるため、オフサイトのスタッフやデータストレージベンダーとの調整が容易になります。



VERITAS NetBackup Vault は、どのバックアップをいつ自動的にオフサイトに送信する必要があるかを正確に指定できる、高度に設定可能なボールド プロファイルを提供します。

自動バックアップコピーが提供する重要な冗長性

バックアップデータをコピーすることで、プライマリ バックアップが紛失、破損、あるいは読取り不可となった場合の冗長性が確保されます。オンサイトとオフサイトにコピーを1つずつ保存しておく、ボールドからオフサイトコピーを返送することなく、(災害時以外の) 通常のリストア要求に答えることができます。NetBackup Vault は大幅な柔軟性と、コピー作業を簡素化する自動化を提供します。バックアップコピーごとに異なる保存期間を柔軟に設定し、バックアップ手順をビジネス要件に容易に合致させることができます。



VERITAS NetBackup Vault は、テープのコピーとオフサイト ボールドの全体サイクルを管理します。

テープの自動排出によるメディア マネジメント

ボールド管理に関するタスクで最も困難なもの 1 つは、毎日オフサイトに送付するテープの収集です。大規模なロボティックテープライブラリから収集したテープを手動で排出することは、収集対象のテープが数十や数百にも上る場合には、想像以上に困難な作業になります。多くの場合、運用マネージャはこの日々繰り返される時間のかかる作業を、すでに自分の担当業務で一杯のスタッフに任せざるを得ません。その理由は単に、バックアップ アプリケーションにアクセスし、排出するべきテープを特定してオフサイトに送付できるのが、通常はそのスタッフしかいないためです。

NetBackup Vault を使用すると、これより効率的な方法を取り入れることができます。毎日オフサイトに送付するべきテープを特定する既定のプロファイルに基づいて、テープは自動的に排出されます。NetBackup Vault は、ロボティック テープライブラリのカートリッジ アクセス ポート(CAP)やメディア アクセス ポート(MAP)を最大限に活用し、これをボールドに送るための保存領域としてテープを置いておきます。そのため、テープを扱うスタッフの作業は、CAP や MAP からテープをすべて取り出し、搬送のためにそれらを箱に詰めることだけになります。ボールドに送るべきテープの特定や、運用スタッフの関与は必要ありません。

オフサイトでのメディア追跡

バックアップテープは、組織内で最も見落とされがちなセキュリティ ホールの 1 つです。バックアップテープをオフサイトに送ると、攻撃に対して脆弱になり、悪意の第三者の手に渡ってしまう可能性があります。オフサイトに送られたテープはどれか、そしてその保存場所はどこかを絶えず把握しておくことが不可欠となります。ところが、複数の場所に保存された何十、何百というテープを手動で追跡することは手間のかかる作業となり、100 パーセントの正確性を持たせることは実質的に不可能で、延々と続く記録作業や手動によるデータ入力が必要となります。

NetBackup Vault はボールド別とスロット番号別、または NetBackup データベースのコンテナ ID 別にすべてのテープの場所を慎重に追跡し、同時に、各テープに保存期間を設定しておく、不慣れなスプレッドシートや時間のかかるデータ入力は不要になります。NetBackup Vault は、オフサイトストレージに複数の場所を必要とする業務に対して、任意の数のボールドをサポートできます。そのため、必要となったテープの場所を正確に特定することができます。

ボールド レポートینگ

NetBackup Vault には、ロボット向けピッキング リスト、ボールドからの返送リスト、様々なインベントリ リスト、そしてリカバリプロセスに使用するリカバリ レポートなど、一連の重要なレポートが含まれます。これらのレポートはオンサイトとオフサイト間のステータスを伝え、オフサイトのデータストレージベンダーへの指示を調整するための重要な方法を提供します。たとえば、最重要レポートの 1 つであるピッキング リスト レポートは、特定の日にオフサイトに送られるすべてのテープを記載しています。

NetBackup Vault は、数値スロット範囲の割当てに従ってオフサイト ベンダーが使用するために、オフサイト スロット識別子を自動的に割り当てます。レポートが手動または自動で生成され、結果は印刷、E メールまたはファイル形式と、Iron Mountain の SecureBase アプリケーションがサポートする電子レポート形式で出力されます。

対応プラットフォーム

- VERITAS NetBackupTM
- HP-UX、Microsoft Windows NT/Windows 2000/Windows Server 2003 または Sun Solaris
- ソフトウェアおよびハードウェアの互換性に関する最新の情報については、<http://www.support.veritas.com/> にある互換性リストを参照いただくか、最寄りのベリタスソフトウェア販売代理店または認定されたベリタスソフトウェア再販業者にお問い合わせください。

ベリタスソフトウェアの詳細な製品情報につきましては、弊社の Web サイト (<http://www.veritas.com/jp/>) をご覧ください。

ベリタスソフトウェア株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 2 号 富国生命ビル
TEL.03-5532-8241 FAX.03-5532-0887
<http://www.veritas.com/jp>

お問い合わせ先